

ゴム・エラストマー押出加工技術のポイント・最近の進歩

日時
2018年 7月26日 (木)
10:30 ~ 16:30

会場 産業科学システムズ会議室 (東京都千代田区富士見1-5-1)

税込受講料

1名 47,520円
2名以上1名 43,200円

本講座では、ゴム・エラストマー押出加工技術の基本、エラストマー材料の配合設計、連続加硫技術等のポイントについて総合的に解説します。さらなる生産性の向上、或いは成形品質の向上をめざす方々にとって有意義な内容です。

業務に役立つ「押出加工Q&A」の資料が付きます。

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線 (緩行線)
地下鉄東西線 (A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線 (A4・B2a出口)
都営地下鉄大江戸線 (A4出口)

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先 (TEL・FAX・E-mail) をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかでお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

講師

西澤技術研究所 代表 西澤仁氏
日本ゴム協会 技術委員会 幹事、難燃材料研究会 顧問

内容

- ・押出加工基本技術のポイント
 1. 代用的な押出ラインの種類とその特徴
 2. 押出材料の加工性指標と適正加工条件
粘度 圧力損失 応力緩和 適正温度 適正圧力
 3. 押出加工の実践技術
準備段階 フィード スクリュー設計
プレーカープレート ヘッド ダイ
 4. 押出加工におけるトラブル対策
 - a. 外観不良、外径変動、ダイスウェル、ウエルドライン、目やに等
 - b. ゴム材料から見たトラブル対策
 - c. 加工設備から見たトラブル対策
 - d. 加工条件から見たトラブル対策
- ・混練加工と押出加工性
 1. 混練指標と押出加工性指標とは関係があるのか 実験による検証結果
 2. 押出加工性に優れたゴムの混練条件とは、混練設備、混練方法等
- ・押出加工性に優れた配合設計
 1. 原料ゴムの選択と加工助剤の選択
 2. 耐熱性配合設計の必要性
 3. 加硫系の選択の重要性
 4. 配合設計とトラブルとの関係は
- ・押出加工技術の最近の進歩
 1. 押出加工技術に今何が望まれているのか
 2. 最近の押出加工技術の進歩
- ・押出加工のQ&A集
ゴム、エラストマーの押出加工技術を良く理解するために基本技術から最近の進歩までQ & Aの形式で解説 (約100問のQ & Aを解説)。

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 ゴム・エラストマー押出加工技術のポイント・最近の進歩

セミナーコード

1101-180726

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2018/7/26 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課 (正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	()
			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				